

北海道地方下水道ビジョン策定に関する調査

全体期間

2003.8～2004.3

(目 的)

北海道における下水道処理人口普及率は平成14年度末84.8%（全国平均65.2%）、農業集落排水事業など他事業を含めた汚水処理人口普及率は88.5%（全国平均75.8%）となり、近年は全国でもトップクラスの普及状況で推移している。

国土交通省では、社会資本整備重点計画に基づく下水道整備の効果的推進、国民にとって分かりやすい下水道行政の実現等に資するため、全国の地方ブロックごとに、地域特性を踏まえた下水道ビジョンを策定することとなった。

本業務は、開発局、北海道、札幌市、旭川市、網走市、江別市、余市町、日本下水道事業団で構成されたワーキンググループで北海道地域における下水道事業の課題を整理・分析し、その対応策を検討するとともに、学識経験者等で構成する北海道地方下水道ビジョン策定委員会からの提言を受け、さらにPIの実施等により地域や住民のニーズを十分に反映した、北海道における今後の下水道整備の基本方針となる「北海道地方下水道ビジョン」を作成するものである。

(経 過)

策定委員会は3回開催された。以下に審議内容を示す。

委員会	開催日	主な審議内容
第1回	H15.9.16	1) 委員会設立趣旨 2) 検討内容と検討スケジュールについて 3) 北海道地方の下水道事業を取り巻く環境について（下水道の役割、下水道事業の現状、地域特性など） 4) 北海道地方下水道ビジョンの方向性について 5) PI調査について 6) その他
第2回	H15.12.9	1) 社会資本整備重点計画の概要 2) 第1回委員会での意見とその対応 3) PI調査の結果報告 4) 北海道地方下水道ビジョン（素案） 5) その他
第3回	H16.3.4	1) 北海道地方下水道ビジョン策定委員会報告書（案）について 2) その他

(まとめ)

北海道地方下水道ビジョンのキャッチフレーズは、現状と課題の把握ならびに委員会の審議等により「水と大地を活かし北国の生活を支える下水道」と設定した。

北海道地方下水道ビジョンでは、北海道ブロックの将来像や地域特性、下水道事業を取り巻く現状と課題、市町村および住民へのPI調査等により、「暮らし」「自然」「産業」という3つの目標像を設定した。

- (1) 安全で安心できる快適な生活環境の実現（暮らし）
- (2) 豊かな自然環境をまもり、調和のとれた社会の実現（自然）
- (3) 産業、経済の発展に寄与（産業）

また、これらの目標像の実現に向けて、下水道事業が直接的、間接的に果たすべき6つの事業目標を設定した。さらに、6つの事業目標を達成するために、下水道事業の実施において不可欠な2つのポイントを整理した。

下水道事業の目標	下水道事業の推進にあたり取り組むべき課題
① 水洗化や住居環境の改善	a 循環型社会における健全な下水道経営
② 雪に強く安全・安心な暮らしの実現	b 連携・協働の推進
③ 水環境・水循環の保全・創出	
④ 地球温暖化抑制	
⑤ 下水道資源・資産の有効利用	
⑥ 食料基地、観光交流空間への貢献	

国土交通省北海道開発局からの受託研究

研究担当者：鈴木 茂，鳥海 弘

キーワード

社会資本整備重点計画，下水道ビジョン，暮らし・自然・産業